

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 飛騨神岡高等学校 学校運営協議会（第3回）
- 2 開催日時 令和6年1月22日（月） 14：20～15：40
- 3 開催場所 飛騨神岡高等学校 簿記実習室
協議の前に、「3年生 総合的な探究の時間 発表会」参観
- 4 参加者

会 長	川上 佳洋	NPO法人宇宙まるごと創生塾 飛騨アカデミー代表
副会長	植田 要助	地域代表
委 員	山田ゆかり	総合型地域スポーツクラブ 一般社団法人 飛騨シューレ
	田中 智枝	田中料理教室
	田口由加子	NPO法人神岡・まちづくりネットワーク レールマウンテンバイク事務局
	帰家 圭吾	有限会社 かんや代表
	中 義人	育友会会長（ご欠席）
	島田 紀子	東洋建設資材株式会社
オブザーバー	都竹 淳也	飛騨市長
	布俣 正也	岐阜県議会議員
学 校 側	近藤 和彦	校長
	那須 貴	教頭
	森下 学	事務長
	松本 正人	教務主任
	一ノ瀬伸郎	生徒指導主事
	楯 幸司	進路指導主事
	中村 英樹	教務部特別活動担当

5 会議の概要（協議事項）

（1）マニフェストに関する自己評価についての説明

意見1：本校のマニフェストは極めて細かく設定され、具体的な重点目標を具現化するため、限られた規模の職員の中で精巧に組織化実践され、多くの生徒の達成感体験は目を見張るものがある。

意見2：生徒自身がわかりやすい授業であると評価していることから、本校の少人数学習が教師と生徒が近距離でコミュニケーションをとり、生徒一人ひとりに寄り添って個々に応じた教育指導がなされていると評価できる。

意見3：ICTがしっかり活用されている。授業参観で見た時にわかりやすく、そして、生徒たちが楽しそうに授業を受けていた。

意見4：生徒・保護者の評価が全体的にどの項目も高いので、生徒の自主性を先生方が信頼し、よいコミュニケーションが取れていると感じた。

(2) 各分掌からの自己評価についての説明

・教務（教務、特別活動、図書）

- 意見1：授業計画や特別活動実践への生徒・保護者の評価も高く、教育目標達成のための協議機関組織も順調に機能され、新教育課程の移行期として計画準備や指導要録の変更周知等もされ、全職員共通理解・共通行動の要としての活動に敬意を表します。
- 意見2：授業参観のたびに感じる事として、電子黒板やタブレット端末を有効に活用したわかりやすい授業が行われていると感じた。一層の活用を期待する。
- 意見3：規模の割に活動する部活動が多いので、幅広く選択できるのが良い。
- 意見4：小人数ながらもたくさんの大会に出場して結果を出しているのがよいと思う。

・生徒指導（教育相談、保健厚生、寮務）

- 意見1：意識調査において、「いじめや差別を許さず厳しく対応」については概ね生徒の評価が高く安堵しているが、保護者の評価において「わからない」という選択肢が高く些か学校の取り組みや生徒の取組について理解されていない現状を危惧される。今後とも学校行事等が平常に戻るにつれ様々な本校の取組も理解されてくると期待したい。
- 意見2：学校を訪問する度に、生徒が明るく元気に挨拶してくれることに非常に好感が持てる。身だしなみも良い。
- 意見3：少人数という特性を活かし皆に目が行き届く、見守り、指導するのが魅力的で、ルールも生徒主体に考えられるのも本校ならではの良さ。自主性が伸びそうである。
- 意見4：居心地度調査を継続して実施していることにより生徒の状態が把握でき、もし何かあった時も早くに対応できると思うので、これからも続けてほしい。

・進路指導

- 意見1：SP（GP、CP、AP）のポリシーを踏まえ、3年間の進路指導計画の実践で様々な進路情報提供、ガイダンスの実践、進路希望（夢）実現に向けた主体的な学力向上のための指導体制は、確かな成果として認識され、生徒、保護者の評価においても高い評価を得ている。今度とも是非生徒には志は高く挑戦させるためにも共通試験対策や自学自習対策指導強化をお願いしたい。
- 意見2：求人募集で訪問した際、進路指導をしていただいた教師に、生徒はどのような点に魅力を感じ、何の情報を探しているかを具体的に話され丁寧に教えていただいた。進路指導は生徒の将来に関わるとても重要な点であり、引き続きご指導をお願いしたい。
- 意見3：年々求人数に対して希望者が減少しているのは今後も続いていくと思われるので、地域の方々と連携していく。専門分野を伸ばしていくことの大切さを感じている。
- 意見4：進路情報を生徒、保護者とも満足度が高くなっているのは保護者と向き合ってもらえてよいことだと思う。残念なのは、看護科への進学がないので、保護者を含め中学生をとり込めるようにしたらどうか。

・中高一貫教育

- 意見1：具体的な活動は計画的に地道に実践されている。中高生徒交流や面談指導、TTによる教員の交流も実施されているが、残念ながら中高一貫教育の流れが本校への進学者の激減により閉ざされた状況にあり「共に育てよう神岡の子」の大事な部分が達成されていないので、今後、計画の再考も含め検討しなくてはならないのではないだろうか。
- 意見2：新聞等で本校生徒が小中学校へ頻繁に出向き、交流、指導を行っている様子を知ることができる。町づくりの企画や鉱山資料館のリニューアル検討、活用などにも引き続き参加いただきたい。
- 意見3：13年目を迎えるということで、地道に長く続けていくことが未来につながるのだと思う。
- 意見4：地域に対する本校の役割をもっと明らかにすることで、中学校の先生にコミットできないかと思う。本校だけでなく、地域にある公立・私立のすべての高校のそれぞれの役割を整理された方がよい。

(3) その他委員からの意見（総合的な探究の時間発表会の感想を含む）

- 意見1：プレゼンテーション能力、課題を発見する力のレベルアップが必要であり、タブレット教育も含め、小・中学校でどのような取組、学びをしているのかを把握することが大事である。
- 意見2：総合的な探究の時間が1年という限りある短い時間だと実践まで漕ぎつけるのがなかなか難しい。実際に経験することも大事であるので、そこまでできたらよい。
- 意見3：総合的な探究の時間で研究したものをホームページ掲載すれば学校のPRになる。町民は興味があるものは必ず見てもらえるので、PRする手段を考えた方がよい。
- 意見4：「ひだかみアカデミア」には、連携中学校の生徒に来てほしかったが、今年は来られる環境がなかったのではないかと。行事を実施する時には中学校と連携し、参加しやすい日程にできるとよい。
- 意見5：コロナ禍が終わり、非常に積極的に地域連携活動を試みえる。地域に学校を残すためにもやはり地域連携は必要だと思う。
- 意見6：地域連携による活力ある学校づくりがなされており、本当に色々な取組をいただいている。地域の皆様にご協力いただいていることである。
- 意見7：生徒数を確保することは今後ますます難しくなっていく。少人数を前提とした指導方針や現生徒数でどのような学校にしていくのかを考えていく必要がある。また、各学校単独で考えるのではなく、地区内の高校の役割分担を検討していく必要がある。

6 会議のまとめ

- 委員の皆様から本校の教育活動に対して好意的なご意見をいただいた。貴重なご意見やご要望を真摯に受け止め、地域の方々にバックアップしていただきながら、本校にしかできない特色ある取組をしていき、地域になくてはならない魅力ある学校づくりに努めていきたい。